

# 宇部市民オーケストラ

## 第16回 気軽にアンサンブル

♪ 日時：2017年7月9日（日）午後2時開演

♪ 場所：ヒストリア宇部 1階イベントホール

♪ 主催ならびに演奏：宇部市民オーケストラ

♪ 後援：宇部市民オーケストラ後援会



本格的な夏の訪れも近い今日この頃ですが、本日は宇部市民オーケストラの「気軽にアンサンブル」に御来場いただきありがとうございます。この「気軽にアンサンブル」は2002年の開始以来、毎年この時期の宇部オケの恒例行事となり、今回で16回目を迎えました。

日曜日の午後のひとときをいろいろな編成の室内楽でお楽しみください。

また、9月3日（日）の宇部市民オーケストラの演奏会「クラシックの午後：気軽にオーケストラ」のプログラムは、ムソルグスキーの「禿山の一夜」、チャイコフスキーの「ピアノ協奏曲第1番」、「交響曲第1番」です。こちらにも御来場いただきますよう御案内申し上げます。

### プログラム



- 1 ベートーヴェン：ドン・ジョバンニ「お手をどうぞ！」の主題による変奏曲八長調  
Ob:宗國敦子、青木浩明、中村香織
- 2 テレマン：ターフェルムジーク第一集より 四重奏曲ト長調  
Vn:金岡源浩 Ob:宗國敦子 Fl:村田恭子 Vc:藤野緑
- 3 プラームス：弦楽六重奏曲第1番変ロ長調作品18より 第1楽章  
Vn1:安永恵 Vn2:清水治子 Va1:濱野妙子 Va2:押部奈美子 Vc1:栗林宏明 Vc2:加藤由香里



◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇

- 4 ハイドン：ディベルティメント第1番変ロ長調
- 5 久石譲：ジブリメドレー  
Fl:戸田紘平 Ob:宗國敦子 Cl:伊藤しおり Fg:伊藤浩太 Hr:戸田朝子
- 6 ベートーヴェン：七重奏曲変ホ長調作品20より 第3、4楽章  
Cl:植木章 Hr:福田誠 Fg:小林太郎 Vn:安永恵 Va:濱野妙子 Vc:藤野緑 Cb:藤野隆
- 7 弦楽合奏 指揮：栗林 宏明  
メンデルスゾーン：弦楽のための交響曲第10番 口短調  
ジョン・ラター：弦楽のための組曲より 第3楽章「O Waly Waly」  
Vn1:安永 恵、金岡源浩、河内山愛子、縄田美言、藤澤彩加 Vn2:清水治子、坂西孝太、佐貴政彰、長岡祥 Va:濱野妙子、浅海菜月、上野明弘、押部奈美子 Vc:加藤由香里、佐伯真理子、原田美沙、山本佐織 Cb:藤野隆



## ♪♪♪ 曲 目 紹 介 ♪♪♪

- ベートーヴェン：ドン・ジョバンニ「お手をどうぞ！」の主題による変奏曲ハ長調  
モーツァルトのオペラ「ドン・ジョバンニ」第一幕第三場のドン・ジョバンニとツェルリーナの二重唱「お手をどうぞ」の主題を使ってベートーヴェンが作曲した変奏曲です。
- テレマン：ターフェルムジーク第一集より 四重奏曲ト長調  
テレマンは、後期バロック音楽を代表するドイツの作曲家です。ターフェルムジークとは、「食卓の音楽」という意味があり、宮廷の宴席で好んで演奏された室内楽を集めたもので、三つの曲集からなります。今日は第一集の第二曲を演奏します。
- ブラームス：弦楽六重奏曲第1番変ロ長調作品18より 第1楽章  
1860年ブラームス27歳の年の作品で、弦楽四重奏にヴィオラとチェロが1本ずつ加わる弦楽六重奏という編成。ブラームスが好んだヴィオラとチェロの中低音の重厚な響きと共に、次々と変化する調性から編み出される、豊かな陰影や溢れ出る躍動感が、この作品の魅力となっています。
- ハイドン：ディベルティメント第1番変ロ長調  
ハイドンは、古典派を代表するオーストリアの作曲家です。数多くの交響曲を作曲したことで「交響曲の父」と呼ばれています。ディベルティメントとは、日本語では喜遊曲と訳され、その名のとおり明るく軽妙で楽しい曲調です。
- 久石譲：ジブリメドレー  
宮崎駿の名作アニメのメドレーです。
- ベートーヴェン：七重奏曲変ホ長調作品20より 第3、4楽章  
ベートーヴェン初期の傑作と言われる6つの楽章からなる七重奏曲より、本日は軽やかでユニークなメヌエットの第3楽章、各楽器により主題を演奏する変奏曲の第4楽章を演奏いたします。大編成のオーケストラを7つの楽器にぎゅっと凝縮した名曲をどうぞお楽しみください。  
今回も昨年に引き続いてクラリネットを新日本フィルハーモニー交響楽団でご活躍され、現在は宇部市民オーケストラにてトレーナーとしてご指導をいただいております植木先生に演奏していただきます。
- 弦楽合奏
  - ・ メンデルスゾーン：弦楽のための交響曲第10番ロ短調 全1楽章  
メンデルスゾーンが12歳～14歳にかけて作曲した交響曲の習作とされる13曲の作品のうちの1曲（単1楽章）。1823年に作曲されたこの曲は、ゆったりと穏やかな序奏部のアダージョに始まり、対照的な、心地よい緊張感のあるアレグロが続きます。端正で均整の取れた爽やかな弦の響きをお楽しみください。
  - ・ ジョン・ラター：弦楽のための組曲より 第3楽章「O Waly Waly」  
ジョン・ラター(1945～)は、多くの宗教合唱曲で知られるイギリスの作曲家・指揮者。  
「弦楽のための組曲」は、1973年に作曲されたイギリス民謡に基づいた組曲で、気品ある温かい旋律と鮮やかな印象を持つ4つの曲からなっています。7年前に全曲を演奏していますが、今回はスコットランド民謡「The Water is wide」が原曲となった、もの悲しくも温かく美しい第3楽章のみ演奏します。  
O Waly Waly は、スコットランド語で「ああ 悲しい」という意味です。